

## 別添様式

都道府県、政令市名	静岡県		
基金の名称	静岡県地球環境保全等に関する基金		
基金の目的	環境保全に関する知識の普及、環境保全活動の促進その他環境の保全に資する事業に要する経費に充てる		
27年度末基金総額(a=b+c+d+e)	323,912,639	26年度末基金総額	406,196,943
うち国費相当額(b)	200,000,000	▲27年度基金執行額	82,284,304
うち地方負担相当額(c)	123,912,639	27年度基金運用益	2,671,101
うち運用益(国費相当分)(d)	0	27年度その他造成額	0
うち運用益(地方負担相当分)(e)	0		

## 基金事業の概要及び執行額の内訳

1 エコチャレンジ推進事業費	
執行額	9,492千円(うち基金充当額9,492千円)
目的	県民運動「ふじのくにエコチャレンジ」の展開により、温室効果ガス排出量の増加が著しい家庭やオフィス等の民生部門における排出削減を図る。
期間	平成27年6月から平成28年3月まで
実績	<p>県民運動への参加実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エコチャレンジTRY(エコ活動の約束、報告):755チーム95,457人(CO2削減量424t)</li> <li>・エコチャレンジBANK(省エネコンテスト):3,667件59,064人(CO2削減量1,398t)</li> <li>・エコチャレンジKIDS(小学生向け体験学習):87校5,551人(CO2削減量9t)</li> <li>・エコチャレンジCHECK(チェックシートでの点検):7市町4,289人(CO2削減量720t)</li> </ul>
公募状況	
2 中小企業エコアクション21推進事業費	
執行額	2,078千円(うち基金充当額2,049千円)
目的	産業・業務部門における温室効果ガスの排出削減対策の一環として、県内事業所のエコアクション21の取得を促進するための総合的な支援を行う。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料省エネ診断:訪問社数84社</li> <li>・支援制度等説明会の開催:参加者103名</li> <li>・取得者向け研修会の開催:参加者201名</li> <li>・省エネに携わる人材の資質向上研修会:3回、計95名参加</li> </ul>
公募状況	
3 地球温暖化対策推進事業費	
執行額	3,870千円(うち基金充当額34千円)
目的	地球温暖化防止に向けた県民意識の向上を図る。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県地球温暖化対策推進本部の開催(構成員:県庁内各部署)</li> <li>地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の進捗状況の点検・評価等開催回数:2回</li> <li>・地球温暖化防止活動の表彰:4部門4団体</li> <li>・地球温暖化防止月間等における普及啓発:立て看板作成等</li> </ul>
公募状況	
4 地球に優しい“ふじのくに”推進事業費	
執行額	12,864千円(うち基金充当額2,626千円)
目的	環境基本計画の進捗管理、環境保全活動の普及啓発等により、本県の環境施策全般の推進を図る。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境月間県民大会の開催(平成27年6月3日):参加者約630人</li> <li>・子ども環境作文コンクールの開催:参加128校1182編、うち44編を表彰</li> <li>・啓発冊子の発行:2300冊</li> </ul>
公募状況	

5 中小企業省エネ設備整備事業費助成	
執行額	3,442千円(うち基金充当額3,442千円)
目的	産業部門、業務部門からの温室効果ガス排出量削減を図る。
期間	平成27年5月から平成28年3月
実績	・補助実績: 8社3,442千円(CO2削減量162.9t)
公募状況	・要領名:平成27年度中小企業省エネ設備整備事業費補助事業公募要領 ・募集期間:平成27年5月29日から12月28日 ・審査基準:中小企業省エネ設備整備事業費補助金交付申請書チェックリストのとおり ・審査体制:静岡県くらし・環境部環境局環境政策課にて審査
6 環境教育推進事業費	
執行額	5,611千円(うち基金充当額5,148千円)
目的	地域環境保全活動の推進役となる人材の育成を図る。
期間	通年
実績	・環境学習指導員養成講座の開催:修了者17名(のべ11日開催) ・環境学習フェスティバルの開催:(平成28年1月1日~2月29日)行事数92 ・環境学習データベースの運営:HPによる情報発信(随時)
公募状況	
7 県民参加の森づくり推進事業費	
執行額	7,194千円(うち基金充当額5,582千円)
目的	地球温暖化防止などの公益的機能を持つ森林環境の保全意識を醸成する。
期間	通年
実績	・森づくり団体等との協働による県民参加型の地域行事を開催:1,298事業、参加28,230人 ・森づくり活動等に寄与する企業を「しずおか未来の森サポーター」として新規認定:5団体
公募状況	
8 芝生文化創造プロジェクト事業費	
執行額	9,148千円(うち基金充当額9,148千円)
目的	環境学習・環境教育における体験学習機会の拡充や、都市の熱環境の改善による低炭素都市形成に向けて、年間を通じ常緑である芝生の普及拡大を図る。
期間	通年
実績	・数種類の代表的芝種を実用条件下で比較しその特性を調査→園庭等ではバミューダグラスのポット苗による植栽が優位であることを確認 ・ウインターオーバーシーディングに適した芝種の選別や管理方法を調査→ペレニアルライグラス・イタリアンライグラスが有効。養生期間短縮のためには種子の全量一括播種が有用
公募状況	
9 県有林管理事業費	
執行額	46,598千円(うち基金充当額394千円)
目的	千本悠久の森について、地域住民との協働管理を導入する。
期間	通年
実績	・地元住民との協働による森林管理:草刈活動等の実施(年3回)
公募状況	

10 生物多様性地域戦略策定事業費	
執行額	21,621千円(うち基金充当額20,933千円)
目的	生物多様性地域戦略を策定し、県民の生物多様性保全意識の高揚及び県民等の多様な主体との協働による生物多様性保全の取組の促進を図る。
期間	通年
実績	・県内希少動植物の生息・生育実態調査の実施 ・「生物多様性地域戦略」策定に向けた検討の実施
公募状況	
11 野生鳥獣緊急対策事業費	
執行額	82,799千円(うち基金充当額2,913千円)
目的	ニホンジカの食害により消滅の危機に瀕している南アルプスの高山植物群落を防鹿柵整備により、保護する。
期間	通年
実績	・学生ボランティア等との協働による防鹿柵の整備
公募状況	
12 富士山環境保全推進事業費	
執行額	19,107千円(うち基金充当額15,106千円)
目的	富士山の環境保全活動の実践と県民の富士山環境保全に関する知識の普及を図る。
期間	通年
実績	・登山者や留学生を対象としたマナー啓発を兼ねた清掃活動の実施 ・山麓周辺道路沿い(3回):参加者168名 ・登山道沿い(2回):参加者401名 ・多言語マナーガイドブック等の作成:70,000部
公募状況	
13 元気な浜名湖づくり推進事業費	
執行額	3,350千円(うち基金充当額3,084千円)
目的	地元が主体となった環境保全の取組の促進により、浜名湖の環境保全に関する知識の普及を図る。
期間	通年
実績	・浜名湖流域で活動する団体の活動内容の発信:情報誌(年3回発行) ・環境教育プログラムの実施(2回):参加者66名
公募状況	
14 自然環境保全総合対策事業費	
執行額	9,991千円(うち基金充当額617千円)
目的	高山植物保護指導員やボランティアとの協働により、ニホンジカの食害によって消滅の危機に瀕している南アルプスの高山植物の保護対策を展開する。
期間	通年
実績	・高山植物保護指導員の委嘱及び研修会の開催(2回) ・高山植物保護対策、植生復元対策の実施 ・学生ボランティア等との共同による防鹿柵の整備
公募状況	
15 野生生物保護管理推進事業費	
執行額	28,545千円(うち基金充当額2,529千円)
目的	県希少野生動植物保護条例に基づく指定希少野生動植物を、県民等との協働で保護・保全する。
期間	通年
実績	・指定希少野生動植物カイコバイモの保護活動に関する支援 ・アカウミガメの上陸・産卵状況調査活動に対する支援
公募状況	

16 循環型社会形成推進事業費	
執行額	7,346千円(うち基金充当額873千円)
目的	廃棄物の減量化のため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)の3Rを推進するとともに、環境への負荷の少ない循環型の社会づくりを進める。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源・リサイクルフォーラムの開催:参加約450人(平成27年10月16日)</li> <li>・ふじのくにエコショップ宣言登録店舗:872件(3Rや環境配慮に取り組む販売店の情報をHPにて発信)</li> <li>・廃棄物リサイクル学習指導法講座の開催:参加者24名</li> </ul>
公募状況	
17 水資源企画調整事業費	
執行額	3,992千円(うち基金充当額693千円)
目的	水資源の保全について、県民の意識の向上を図る。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水の週間記念作文コンクール」の開催及び優秀作品の表彰:参加校17校484編、うち15編を表彰</li> <li>・水の出前教室の開催:参加校73校、133講座、3,997人</li> </ul>
公募状況	
18 長島ダム流域連携事業費助成	
執行額	3,812千円(うち基金充当額293千円)
目的	流域における交流人口の増加や、水資源への関心の持続と向上を図ることにより、水源地域の自立的・継続的な振興と、水資源を活用した流域全体の発展を支援する。
期間	通年
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長島ダム周辺への植栽・植樹イベント(平成28年3月)</li> <li>・エコツーリズムネットワークとの共催による、水源地域の自然環境を活かした自然体験プログラムの開催(通年、8プログラム:ダム湖面におけるカヌーツアー、水源涵養林のトレッキング等)</li> </ul>
公募状況	